

まるこやま

第62号

令和2年7月20日

〒699-1251
雲南市大東町大東2419-1
大東交流センター
TEL(0854)43-2130



E-mail: daito-c@hotmail.yoitoko.jp
http://user.yoitoko.jp/daito-c/

大東交流センターだより

発行：大東地区自治振興協議会

丸子山公園 桜の広場 清掃活動

6月21日に「丸子山を愛する会」の呼びかけで、今年度第1回目の「丸子山公園桜の広場清掃活動」がにぎやかに行われました。今回も一般参加者や左官組合大東工友会員、大東ライオンズクラブ会員など34人の協力を得て、大東のシンボル丸子山公園がきれいになりました。



スポット紹介



中国戦犯管理所から不戦の願いを込めて元日本兵に託された“赦しの花”アサガオ

今年も大東町戦没者遺族会の手により種が植え付けられ、きれいな花が咲きはじまりました。



丸子山公園リニューアル完成記念(1989年4月)パークギャラリー

今でもコンクリート階段の両脇に貼り付けられた絵・文字タイル(160枚)が来訪者を楽しませてくれます。(完成時にみんなで作りました。)



昭和28年10月に町戦没者遺族会が中心となり建立された平和の女神像(彫刻家：吉田町出身の内藤伸・大東町出身の清水源可の合作)

昭和31年に大東町の戦没者755人を追悼する式が行われ、昭和42年には平和の女神像の横に戦没者名が記された刻銘板が設置されました。(大東町誌より)



大東地域交流センターを 災害時の指定避難所に！そして調理室を！！

6月26日、速水市長に大東地区自治振興協議会（小山保雄会長）、大東地区自主防災連絡協議会（安部茂樹会長）、大東地区女性振興会（光谷由紀子会長）、松江シティFCチーム受入れ準備委員会（藤本雄二世話役）の連名で大東地域交流センターを指定避難所に指定するとともに調理室を増設していただくよう要望書を提出しました。

新型コロナウイルス感染の終息が見えない中、災害時避難所の「3密」を防ぐための手段として避難所の分散化が全国的に取り組まれています。大東地区の指定避難所は「大東小学校」「大東保育園」「大東体育文化センター」「大東公園体育館」「大東高校」ですが、災害の種類、規模、時期等によっては避難所の地形的問題や冷暖房・トイレ設備、食事の提供や密集が防げるかなど心配されます。雲南市内では大東町以外の各交流センターが指定避難所になっています。遅ればせながら大東地域交流センターも指定避難所として追加のうえ、避難所には必要不可欠な調理施設を是非整えていただくよう要望しました。

また、令和3年度にチームを設立される松江シティFCユースの選手受入れについては、大東高校の

1学年最大15人、3学年45人が見込まれていますが、選手の住まい（下宿）と食事提供（食堂）を分離した案が進められています。先ほどの災害時の食事提供とともに、普段の松江シティFCユース選手の食事提供（食堂）の拠点としても大東地域交流センターの活用が見込まれることから、早急な対応を重ねて要望しました。

速水市長からは、「避難所の指定、調理室の増設、ともに重要なことで出来るだけはやく実現させたい。特に調理室は女性の活躍の場としても活用いただきたい」との回答がありました。



いよいよ都市計画道路新庄飯田線最終工区着工

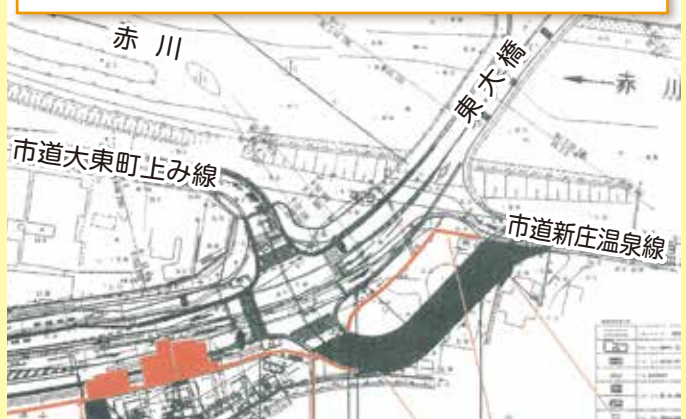
6月より都市計画道路新庄飯田線整備4工区（東町工区：東大橋まで）の工事が令和5年度中の完成を目指して始まりました。

平成14年に1工区（飯田工区：飯田橋より）が着工となったこの整備は、周辺のJR出雲大東駅、雲南市立病院、県立大東高校、市立大東中学校・小学校などの公的施設や商業施設に通じる幹線街路整備事業で、交通体系の利便性や安全性の向上を図るとともに、並行して取り組まれた土地区画整理事業2団地とあわせ魅力ある新しいまちづくりが進んでいます。

昭和50年1月に都市計画街路として計画決定以来、多くのみなさんの力を結集しながら完成しつつあるこの整備で生活基盤が整い、定住人口の増加、中心市街地の活性化が図られることが期待されます。



都市計画道路新庄飯田線 東大橋南詰交差点付近整備計画



令和4年3月で

有線通話サービスが終了します



昭和33年に農協運営により海潮・幡屋地区でスタートした有線放送電話は、その後各地区で普及が進み、昭和35年に間借りした役場1階を拠点として全町一元化されました。そして昭和40年には役場の隣に独自の施設が整備され、昭和44年10月に放送・受信共に自動化になりました。(大東町誌より)

加入すれば町内無料通話や全戸一斉放送など非常

に便利なサービスが受けられましたが、スマートフォンやパソコンなどの普及により加入者が減少するとともに老朽化する施設の維持管理が難しくなり、令和4年3月末をもって有線通話が廃止となります。

なお、うんなん夢ネットの音声告知放送や行政の緊急放送、自治会内等のグループ放送(ページング放送)はこれまで通りサービスが受けられます。

「有線」懐かしのあの頃

あの頃は、我が家の大黒柱に取り付けられた「有線」から流れる「大東町民の歌」～八雲の山の朝雲をうつして清い赤川に・・・～で毎朝目が覚めた子ども時代でした。

「有線」が開通した頃の記憶のひとつに「1092番(イッセンキュウジュウフタバ、イッセンキュウジュウフタバ)」という電話の向こうから我が家の番号を呼び出す交換手の声があります。隣近所15～20戸が1回線を共有するシステムなので、おそらく同じ回線を利用している近所の番号を呼ぶ交換手の声が聞こえたり、同じ回線のどこかの家庭で通話中の会話が受話器越しに聞こえたんだと思います。それでも電電公社の電話がなかなか引けない田舎では、居ながらにして町内の人と用が足せたり、一斉に農事放送やお悔やみ放送が聞けたりと、暮らしを便利で豊かにする魔法の箱でした。(安部幸治)



当時の一般的な電話交換室



パネリ掲示板



6月26日

県道上久野大東線清田地内道路拡幅改良工事の早期着手に関する要望書を雲南県土整備事務所長あてに提出しました。
(改良促進協議会、大東地区振興会等関係団体)

7月5日

このところ町内で頻繁に発生する火災を受けて消防団大東方面隊一斉啓発活動があり、大東分団(山本玲二分団長以下48名)でも、火災予防チラシの全戸配布(731枚)が実施されました。



7月8日

2回目となるスローモビリティー実証運行が8月28日までの間、雲南市立病院～Aコープだいてうで再開されました。高齢者の足の確保等新しい移動手段として、早期の実用化が期待されています。



大東の子どもたちの心は豊かに育っています

昨年度、「第17回島根県民文化祭」のジュニアの部に、本校の当時の2年生が短歌を、3年生が俳句の作品を出品しました。数多くの作品が入賞しましたので紹介します。

短歌の部

大賞

目の前の鏡見ているぼくのかお 心の声があらわれている【中島康介】（春殖地区）

★審査員選評：「心の声」がとても良いです。顔の表情には喜びや悲しみ怒りなどありますが、おそらく嬉しいことがあったのではないのでしょうか。心に声はありませんが作者には表れたと言い切ってあげてください。

優秀賞

夕暮れを一人で歩く帰り道 もうすぐ夕日の影が二つに【岡田隼人】（春殖地区）

★審査員選評：部活を終えての帰り道でしょうか。夕暮れの寂しさと、夕日の影が二つになる期待感が想像できます。影が二つになる訳は隠れていますがそこは読者の想像に任されています。

登校中つま先立ちで歩いてく 新しいくつ汚さぬように【女鹿田美咲】（佐世地区）

★審査員選評：新しい靴を履いた朝の様子が目の前に浮かびます。語順がよくつま先立ちの言葉が弾む気持ちを表していて、靴を汚したくない気分に関感しました。

- <入選> ・虹色に今を少しずつ染めていく 進んで行くは虹色未来【狩野悠斗】
 大東地区の生徒のみ ・泳ぐ雲大きな空と一対一 まぶしい空と小さな私【高田那妃】
 ・こいのぼり川じゃないのに泳いでる いきいきしたりしょんぼりもする【藤原陽向】
 ・ももいろの桜の花が咲くからに われはながめるなにかを思って【藤本愛】
 ・帰り道いつもと同じ景色だが 心のどこか悲しい思い【福岡愛弓】
- ※入賞・入選作全14点中、大東中の生徒の作品が12点選ばれました。



俳句の部

大賞

一日が長く感じる春の雨【景山 翔】（阿用地区）

★審査員選評：いつまでも降り続く春の雨を見ながら心が急ぐ事が有るのであろう。中学も上級生になりこれから運動部の中心になって戸外で活躍をしたいと思っていると、今日も雨のために運動場が使えない。室内で行うトレーニングは単調になりやすく同じ事の繰り返しには集中ができなくなげやりになり易い。早く外で思い切り練習がしたいと思う心が伝わって来る。

優秀賞

勉強中窓から見えるこいのぼり【黒田歩乃佳】（大東地区）

★審査員選評：素直な勉強中の周囲の観察。先生の説明が一息ついたところで何気なく窓の外景色が目に入った。二階の教室の窓の外には矢車を光らせ、大きな三色の鯉幟が屋根瓦を擦るかに勢い良く泳いでいた。何年かぶりに見る鯉幟に心も躍動している作者。学習中の外見はいけないうことだと思いつつも、その光景を的確に捉えて描写できた好句である。

新緑の輝きが舞う風の丘【武田真帆】（幡屋地区）

★審査員選評：五月の初夏の木々は緑は、色彩的にも多彩でありそれぞれの木々が光り輝いている。裏山の公園に友達と遊びに出掛けたのであろう。新緑の木の間より街並みの瓦屋根が光って見える。気持ちの良い風の中に周囲の木々を見渡すと木の葉がそれぞれ光りながらも特色ある新緑であったことを発見したのである。その新緑の葉の色の輝きを「舞う」と表現した感性が素晴らしい。

- <入選> ・大空に太陽みたいなシャボン玉【狩野晴香】 ・衣更え短い袖に風が吹く【布野春菜】
 大東地区の生徒のみ ・春告鳥学校始めの月曜日【嘉村奏汰】 ・チューリップ赤や黄色の一年生【若槻吾乃子】
 ・自転車や桜のじゅうたん通学路【狩野智陽】 ・平成が令和にかわり五月来る【遠藤由貴】
- ※入賞・入選作全27点中、大東中の生徒の作品が20点選ばれました。

令和2年 6月末現在の 人口・世帯数 〔()内は対前々月比〕	項目	総人口	男性	女性	世帯数	高齢化率
	雲南市	37,394人(▲56人)	18,019人(▲21人)	19,375人(▲35人)	13,746世帯(▲14世帯)	39.16%(-0.02%)
	大東町	11,915人(▲27人)	5,795人(▲10人)	6,120人(▲17人)	4,166世帯(▲6世帯)	39.01%(+0.10%)
	大東地区	3,493人(▲11人)	1,678人(±0人)	1,815人(▲11人)	1,260世帯(±0世帯)	

資料：雲南市HPより

玄関先の笹飾りで 大東七夕祭を祝いましょう

今年の大東七夕祭は新型コロナウイルス感染症予防のため中止いたしました。

「サーイ、サーイ、サイサイ、テンテコテンノタナバタサン」と元気な声で行列する子どもたちの姿が見られないのは大変残念です。

440年余り受け継がれている大東の夏の風物詩「大東七夕祭」は、祭のシンボルである「西瓜提灯」とともに「子どもたちが主役の七夕祭」「平和を願う七夕祭」として全国に発信しています。素朴な祭りでありながら子どもたちのあふれんばかりの笑顔は地域の宝であり、未来を切り拓く力です。

是非来年こそは大東七夕祭が開催できるように願うとともに、各家庭で思い思いの願いを込めた短冊を笹竹に飾り、玄関先に掲げて七夕祭を祝いましょう。

(大東七夕祭保存会)



僕らの七夕祭 2020

大東七夕祭応援計画 代表 原田 憲一

こんなときだからこそ何かできないだろうか？

大東七夕応援計画では、毎年、大東七夕祭を盛り上げたいと、いろいろな方に参加や協力を呼びかけたり、記録動画を作成したりしています。今年は、大学生の角谷さんと吉川君中心に取り組もうと検討していましたが、中止が決定されました。そこで、これまでの歴史やこの七夕祭の大切さを考えるような取り組みを何かしようとメンバーで検討しました。雲南コミュニティ財団でもお世話になりました。そして決めた今年度の計画は、町内小学生から預かった願いごと短冊を笹竹につけ、大東地域交流センター玄関に飾るプロジェクトです。また、Facebookでページを作成して、ここでも一般の方からの願い事を募集します。この願いごと短冊も一緒に笹飾りにします。こうした取り組みや七夕祭にちなんだ内容をFacebookにより配信することで多くの人に大東七夕祭の魅力を感じていただきたいと考えました。当日8月6日にも取り組みの様子をお伝えするような内容の配信を計画しています。ご覧ください。





地域の課題に取り組んで!

松江市島根町(金成出身)中村正二(旧姓友塚)
 民宿「なかよし」経営

大東のみなさんこんにちは!

大東中学校卒業後51年が過ぎ、昨年秋には卒業50周年同期生会が行われ、恩師を囲み当時を振り返ったり、現在の様子を語り合ったりと大いに盛り上がりました。

私は昭和44年の春、中学校卒業と同時に調理師を目指し専門学校の夜間で学び、その後大阪、名古屋そして松江に帰り料理店などで修業を重ね、縁あって現在地小波に養子として迎えられ30年余り、現在に至りました。

さて、島根町での生活といえば、来て早々に民宿の経営すべてを任せられ、ひたすら専念し、平成10年には施設を建て替えリニューアル。民宿業はもとより冠婚葬祭の仕出しや宴会など幅広く手掛け、おかげさまで地元や各方面の方々にご利用いただいています。幸い、目の前が海水浴場という立地条件にも恵まれ、夏には大いに賑わいます。また、一昨年には美しい海岸線や太古より変わることのない大地・自然(ジオサイト)が島根半島・宍道湖中海ジオパークとして認定されました。島根半島の成り立ちを知るうえで貴重な展示場「ビジターセンター」も開設され、県内外からも多くの観光客の方にお越しいただいています。ただ、

様々なイベントで観光客を呼び込み賑やかそうではありますが、地域全体を見れば何処も同じで少子高齢化が進み、空き家や耕作地の放棄など課題が山積みです。移り住んだ街で充実した生活ができるよう、私も様々な団体・グループに参画し、課題の解決に取り組んでいます。

ところで、大東町は町全体が随分と様変わりし、母校は無くなり、近々役場も取り壊されると聞きました。道路や街中は整備されずいぶん変わったように思います。この広報紙「まるこやま」に触れ、町民の皆様の活躍ぶりを頼もしく感じています。いずれ交流の場が持て、意見交換ができればいいなと思っています。

今後、町民の皆様のご健勝と町の益々の発展を祈念いたします。



小波海水浴場

まなびの泉

「地域の人に育まれて」

雲南市立大東保育園長 佐藤 幸子

「今年は笹巻きに来れなくて残念ですわあ。」

保育園に迎えに来てくださったお祖母さんの言葉が心に沁みます。保護者や地域の方々に見守られながら毎日元気に通い、のびのびと元気に遊んでいる子どもたちです。

コロナウイルス感染対策が叫ばれる中、笹巻きのみならず色々な行事を中止や縮小せざるをえない状況ですが、保護者の皆様や地域の方との接点を途切れさせてはいけないとの思いです。しっかりと感染症対策をしたり形態を工夫したりしながら大人の温かい見守りの中で育ってほしいと願っています。

七夕祭りも今年中止が決定し、大東っ子にとっては何とも寂しく物足りなさを感じる今年の夏です。大東保

育園でも毎年『こども祭り』と称してこの時期保護者と一体になって盛り上がる行事があります。PTA行事としての開催は難しく断念しましたが、例年西瓜提灯作りでお世話になっている七夕保存会の皆様に今年も助けていただきながら一緒に西瓜提灯を作り、この『こども祭り』に飾って楽しめたらと思っています。

また、例年七夕祭りの前には3歳児以上がこの西瓜提灯をおみこしに乗せ、通りを練り歩いています。七夕行列を楽しみにしている子どもたちです。年長さんだけでもお世話になった七夕保存会の皆さんが待つ北町公民館まで練り歩き、地域に根付いたこの行事を肌で感じてほしいと思います。

笹巻き作りや西瓜提灯作りだけでなく、丸子山やあじさいロード、赤川や大日如来など園外に出かける度に色々な場所で地域の方の温かい声掛けに出会わせていただいています。こうした幼児期の直接体験は必ず記憶に残り、故郷を慈しむ心の根っこになっていくことと思います。



にがおえて
こんにちは!

喜んでもらえるように芸をみかく

出雲國大原神主神楽保存会 佐々木和行

最近「神楽」がいろいろな所で催されていますが、「神楽」の歴史は古く、「神社の例祭で神様に捧げる歌舞である」と言われています。

島根県内にもたくさんの神楽があって、それぞれに特徴があります。私が所属している「出雲國大原神主神楽」は旧大原郡の神職を中心にした神楽保存会です。450年の歴史があり、ドイツ、フランス、伊勢神宮・靖国神社などで奉納・公演を行ってきました。

私は、小さいころから神楽に触れる機会が多かったのですが、30歳頃に先輩方の舞と奏楽に感動して「私もあんなふうになれるになりたい」と思ってから、今までずっと続けてきました。先輩方の舞は、美しく迫力があり、なかなか真似ができません。私は舞う方が多いのですが、奏楽も素晴らしいものです。神楽の中にも学ぶ事が多く、長い歴史があるこの芸能を是非後世に受け伝えていくべきものだと考え練習を重ねています。出雲神楽の演目である「八俣大蛇(やまたのおろち)」「國譲(くにゆずり)」などは、日本最古の歴史書「古事記」「日本書紀」にある出雲神話を題材にしたものです。



(絵:大東町東町北 細田 滋)

面をつけて舞をしていると足下が見えず舞台から落ちたり、面がずれてしまったり、刀がなかなか抜けなかったりと何が起るかわからないのでいつも緊張して舞をしています。終わって観客の方から拍手をいただくと「喜んでもらえて良かった」と思います。

これからも、日本の昔から受け継がれる良きものを伝え残していきたいと思います。



この人に聞く

ふくま くにこ
福間久仁子さん
(西町自治会)

大東で生まれ、大東で育ち、大東で勤務、大東で結婚して生活、今日まで育ててくれた大東に感謝、これからも地元大東のために何らかのお手伝いできればと願う福間久仁子さんです。

Q 多方面にわたり活動されていますが一つ紹介してください。

まずは、「光舞ほたる」の活動ですね。約5年程前でしようか盆踊り仲間の若い方からもっと色々な踊りがしてみたいとの意見があり、「よさこい踊り」を知っているSさんの指導を受け立ち上げました。

当初5人のメンバーで友人を募り、今では15人の大所帯となり楽しく活動しています。

毎週月曜日練習会を開き踊りに磨きをかけ、新しい振付に挑戦中です。

何といっても華やかな衣装をまとい、ヘアスタイルもあでやかに、チョット厚めの化粧して大ヘンシーン!イメージチェンジでパワーアップ、動きも激しくて心地よい汗もかきストレスも発散 最高に楽しいです。

色々な福祉施設の訪問・慰問が私たちの一番のやり甲斐です。資金がない中で何でも自分達でできるように講習会をし、今ではメイクもヘアーメイクもできるようになりました。

還暦を過ぎたメンバーがかなりおりますが高齢化になっても頑張りますよ。

Q ボランティア活動について聞かせてください。

読書指導員(大東図書館)をしています。

これは、小学生までの子どもさんに絵本とか、紙芝居を読み聞かせをします。現在、月に一度、春殖地区を担当し出かけています。今後子どもたちが何か困ったとき、行き詰ったときに本が抛りどころになり、やさしい心を持つ子どもになって欲しいと願っています。外で遊ぶことも大事、時には、心静かに落ち着かせる場も必要です。

この仕事は、やりがいがあり、一番楽しいボランティアですね。

また、地域運動指導員(身体教育医学研究所うんなん所属)もしています。寝たきり老人にならないため、要請があれば出かけサロン形式で数人を相手に軽い運動や脳トレ・筋肉トレーニングを指導しています。もともと体を動かすことが好きなのでとってもこの活動です。



光舞ホテルで活動中は、家族の協力体制もバッチリですね。

話にもだんだん熱が入ってきました。

「私も、子どもが小さい頃、仕事仕事で放ったらかしで申し訳なかったと思う。我が子にしてやれなかった分、少しでも今のお母さんたちの助っ人ができれば・・・。」と話します。母は強し、されど優しく、その思いはきっと子どもたち、お年寄りにも通じますよ。また、通じて欲しいですね。

郷土の暮らしと文化

「田中の大日さん」

大東の歴史をたずねる会 浜田 富次

田中の景雲山萬福寺東側の山腹に「大日如来堂」が建立されている。この堂内には平安時代に作られた大日如来坐像2軀(金剛界・胎蔵界)、釈迦如来坐像1軀、薬師如来坐像1軀、阿弥陀如来坐像1軀、及び観世音菩薩立像1軀と江戸時代作の不動明王立像1軀の計7軀の木造の仏像が安置され丁重に祀られている。なお、立像2軀を除きいずれも島根県指定の有形文化財に指定(昭和35年に4軀・平成5年に1軀)されており、通称「田中の大日さん」と親しみを込めて呼ばれ、地元住民はもとより県内外からの参拝者も多く厚く信仰されている。



大日如来堂(平成5年竣工)

これらの仏像は元々田中上地内を流れる反部川を上流に沿って道を北に進み、更に坂本谷奥の山道を登った山頂の麓にあった「延寿山極楽寺(萬福寺の末寺)」の本尊仏として安置され祀られていた。この堂は無住で永年の雨露により損耗が進み仏像の保存が危ぶまれていたが、平成3年に暴風雨で被害を受け損傷した。これを契機に本寺の萬福寺や地元信者及び各関係者が結束し堂の移転を決意。寄付金を募る等その実現に奔走され、これに当時の県と町の各教育委員会も文化財保護の観点から助成を行い平成5年に念願であった「大日如来堂」が完成した。

極楽寺の由緒歴史は、田中から山田方面にかけては往古は高ノ峯山(412m)を中心とする山岳仏教で栄えた修験信仰の山で、往時は48坊(一説には46坊)があり、また神仏習合と相まって栄華を極めていたと伝えられている。この山麓一帯には今も寺院の礎石

が確認され、「寺床谷」などの地名も残っており、その繁栄ぶりが想像できる。そして、極楽寺はその中核をなす寺院で相当な修験者や僧兵を擁していた大寺であったと言われている。なお、この当時の極楽寺はもっと高ノ峯山寄りに建立されていたが、後年に火災に遭って、現在の田中坂本谷奥の山麓に堂を建て仏像を遷座したものと伝えられている。また、古記録によると高ノ峯山の開山は天平元年(西暦729年)に信濃国日浦郷芦原の里から佐々木・南波の両氏が移住し、その際に北辰妙見を勧請し祀ったことがその始まりと伝えられている。



極楽寺跡地の石碑

県の有形文化財の指定を受けた仏像は学術的に大変に貴重で、殊に大日如来は仏教界では宇宙の根源とされる密教の中心仏とされている。当大日如来坐像2軀の作風は重厚かつ繊細で観る者を圧倒し、仏の慈悲と無限の包容力がただよっている。平成29年秋に開催された出雲古代歴史博物館の特別展「島根の仏像」に公開展示され、県内外の多くの方々へ知れ渡り、反響も大きく好評を博した。先人達が守り伝えてくれた由緒ある「田中の大日さん」は、私達が後世に伝え継がねばならない郷土を代表するお宝である。



大日如来坐像
(胎蔵界・高140cm) (金剛界・高142cm)

③ 参考文献…新大東町誌、大東町郷土の姿(第2集)、島根の仏像(出雲歴博)、大日如来堂の説明版 ほか



ご寄付に感謝致します

皆様からお寄せいただいたご寄付は地域の絆を深め、支えあう活動に対する補助金等に活用させていただいております。

- ・大東町(北 町) 高橋 紀子 様 (香典返し)
- ・大東町(新庄南) 水戸 勝春 様 (高校下宿生へ玄米)
- ・大東町(新庄西) 狩野 長治 様 (香典返し)
- ・大東町(北 町) 深田 幸悦 様 (見舞返し)
- ・大東町(北 町) 早川 正樹 様 (香典返し)
- ・大東町(大木原) 佐名木良子 様 (見舞返し)

大東地区振興あいあい募金運営委員会 (TEL: 43-2130)

令和2年度 あいあい募金助成事業決定

令和元年度中に皆様から「あいあい募金」にいただきましたご寄付は、総額375,000円の寄付金29件と、大東高校下宿生に対する玄米合計150kg4件と、音響設備等物品2件でした。誠にありがとうございました。この寄付金は申請内容審査のうえ、令和2年度あいあい募金助成事業補助金として次の団体に交付することと致しました。

また、大東高校下宿生に対する玄米寄付を受け付けていますので引き続きご支援をよろしくお願いたします。



令和2年度あいあい募金助成事業

団体名	事業名	補助金額
光舞ほたる	「光舞ほたる」と名付けよさこいを踊る	40,000円
新庄通学路等ボランティアの会	地区内の児童生徒及び住民の安全安心を確保するボランティア活動	45,000円
大東踊り河北保存会	河北盆踊りの保存継承事業	35,000円
中町自治会防災クラブ	防災備品整備事業	35,000円